



## 第 12 回 東京エリア Debian 勉強会 事前資料

Debian 勉強会会場係 上川純一\*

2006 年 1 月 21 日

---

\* Debian Project Official Developer

## 目次

1	Introduction To Debian 勉強会	2
1.1	講師紹介 . . . . .	2
1.2	事前課題紹介 . . . . .	2
2	Debian Weekly News trivia quiz	3
2.1	2005 年 50 号 . . . . .	3
2.2	2005 年 51 号 . . . . .	4
2.3	2005 年 52 号 . . . . .	4
2.4	2006 年 1 号 . . . . .	5
2.5	2006 年 2 号 . . . . .	5
3	最近の Debian 関連のミーティング報告	7
3.1	東京エリア Debian 勉強会 11 回目報告 . . . . .	7
4	Debian Policy	8
5	冬の戦線報告	9
6	個人提案課題	10
7	グループ提案課題	11
8	次回	12

## 1 Introduction To Debian 勉強会

上川純一



今月の Debian 勉強会へようこそ。これから Debian のあやしい世界に入るという方も、すでにどっぷりとつかっているという方も、月に一回 Debian について語りませんか？

目的として下記の二つを考えています。

- メールではよみとれない、もしくはよみとってられないような情報を情報共有する場をつくる
- まとまっていない Debian を利用する際の情報をまとめて、ある程度の塊として出してみる

また、東京には Linux の勉強会はたくさんありますので、Debian に限定した勉強会にします。Linux の基本的な利用方法などが知りたい方は、他でがんばってください。Debian の勉強会ということで究極的には参加者全員が Debian Package をがりがりと作りながらスーパーハッカーになれるような姿を妄想しています。

Debian をこれからどうするという能動的な展開への土台としての空間を提供し、情報の共有をしたい、というのが目的です。次回は違うこと言ってるかもしれませんが、御容赦を。

### 1.1 講師紹介

- 上川純一 宴会の幹事です。

### 1.2 事前課題紹介

今回の事前課題は「2006 年の Debian 勉強会でやりたいこと」というタイトルで 200-800 文字程度の文章を書いてください。というものでした。その課題に対して下記の内容を提出いただきました。

#### 1.2.1 えとーさん

デベロッパー向けがメインだった Debian 勉強会でユーザ寄りのことも行なうようになったので、その中で出来ることをすこしずつやって行きたいと思います。

ユーザ寄りと言っても濃いユーザ寄りの情報交換 (or 情報発信) の場として育って行くとうれしいです。新人発掘のためになにか出来るとよいなと思いますが、まず自分が新人になるところからでしょうか、デベロッパーはちょっと辛いのですが、qwik のメンテを通してなんかできるようになりたいなと思います。

#### 1.2.2 上川

昨年はてさぐりで Debian 勉強会を開始しました。昨年の段階では継続して勉強会をすることがはたしてできるものなのか、というのも明確ではなかったと思います。今年は、勉強会をすること自体は可能だということをふまえて、参加していて意味のある内容として継続できるものを模索していきたいと思っています。

## 2 Debian Weekly News trivia quiz

上川純一



ところで、Debian Weekly News (DWN) は読んでいますか？ Debian 界限でおきていることについて書いている Debian Weekly News. 毎回読んでいるといろいろと分かって来ますが、一人で読んでいても、解説が少ないので、意味がわからないところもあるかも知れません。みんなで DWN を読んでみましょう。

漫然と読むだけではおもしろくないので、DWN の記事から出題した以下の質問にこたえてみてください。後で内容は解説します。

### 2.1 2005 年 50 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2005/50/> にある 12 月 13 日版です。

問題 1. [www.skolelinux.org](http://www.skolelinux.org) についてでた提案ではないのはどれか

- A バグトラッキングシステムを共有する
- B 関係者の blog を planet でアグリゲートしたりする
- C こっそりと人を誘拐してメンバーを増やす

問題 2. Branden Robinson が Tuxjournal でのインタビューで、Debian の成功に貢献したものとしてあげたのは

- A 自由なライセンスを強調する人達とソフトウェアの品質を強調する人達がそれぞれ貢献できてきたこと
- B Ruby をがんがんつかってコードを書いた事
- C お互いに仲のわるい開発者たちが足をひっぱりあいながらお互いを潰しあっていたこと

問題 3. GPL でリリースされているゲームボーイ用のエミュレータは main にいれてもよいのか

- A フリーのゲームを開発しているグループがあるため、main にいれてもよい
- B ゲームは商用のゲームしか存在しないため contrib に入れる必要がある
- C エミュレーションという不純な動作は non-free にあるべきだ

問題 4. pkg と pkg-data に分割する場合の確認項目について Bill Allombert は投稿した、そこで説明していなかったのは

- A パッケージ名は pkg と pkg-data にしてほしい
- B pkg-data は architecture: all にしてほしい
- C pkg-data のサイズは 5MB を越えていることが望ましい

問題 5. tetex の設定ファイルについて Frank の提案したのは？

A /usr/share/texmf にデフォルトがあり、/etc/texmf にアドミニストレータの設定があり、HOME/texmf に各ユーザの設定がある構成

- B Debian メンテナが一番偉いのでユーザの設定を無視して、世界統一の設定にすること
- C Debian menu システムの設定システムが優秀なので、それをそのまま採用すること

## 2.2 2005 年 51 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2005/50/> にある 12 月 20 日版です。

問題 6. [debianforum.de](http://debianforum.de) は開始何年たったか

- A 3 年
- B 4 年
- C 5 年

問題 7. Jaldhar H. Vyas はインドでは通信が困難なので、雑誌に付録として Debian を付けたいと提案しました。ただ、コストがかかるので、DVD 1 枚におさめたいと説明しました。Joerg Jaspert の回答は

- A Cebit などの展示会で利用するためにすでに作成したことがあるので結構簡単だよ、と回答した
- B そんなものをつくるのがおこがましい
- C ソースだけだったら 1 枚でもいけるかも

問題 8. `lsb` の起動スクリプトの利用方法について検討していた際に、エラーが発生した場合にコマンド自体のエラーが画面に出力されて表示がみだれることに対して提案されたのは

- A エラーは `/dev/null` へ
- B エラーなんておきないようにする
- C エラーなどを `syslog` に送信してみる

問題 9. `dpkg-sig` を含むパッケージが Debian archive にアップロードできなくなっていたのは。

- A `dpkg` にそんな機能拡張はしてはいけないという主義主張の問題
- B 予期しない原因で jennifer のチェックが厳しすぎたため
- C 実は `dpkg-sig` なんてものはなかった

問題 10. `TexLive` パッケージのライセンスで Joerg Jaspert がおかしいと指摘したのは

- A Live という名前がダメだ
- B `tex` は時代遅れです
- C DFSG という謎のライセンスを利用している部分が存在した

## 2.3 2005 年 52 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2005/52/> にある 12 月 27 日版です。

問題 11. Norbert Tretkovski は、[backports.org](http://backports.org) で何がおきたと発表したのか。

- A [backports.org](http://backports.org) が `etch` に対応した
- B [backports.org](http://backports.org) のメンテナンスをあきらめた
- C [backports.org](http://backports.org) が `sarge` に対応した

問題 12. <http://wiki.debian.org/StatusOfUnstable> は何を説明してくれるページか

- A 現状の `unstable` で何がおきているのかをまとめている wiki ページ
- B `unstable` であるということはどういうのかといういを熱く語るスレッド
- C 今どういうことが `unstable` になりえるのかということを解説しているページ

問題 13. Kevin Locke が発表した `powermgmt` プロジェクトは何をするものか

- A Debian の中での共通の電源管理用のインフラを提供することを目標とする
- B ハックに必要な栄養の補給方法について検討することを目標とする
- C 権力をいかに分配するのかということについて検討することを目標とする

## 2.4 2006 年 1 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/01/> にある 1 月 3 日版です。

問題 14. Debian パッケージを圧縮しなおすことで一番小さくできたのはどの圧縮ソフトウェアか

- A gzip
- B bzip2
- C 7-zip

問題 15. apt-torrent は何をするものか

- A apt 風のインタフェースで bittorrent を利用できるツール
- B apt のパッケージダウンロードを bit-torrent 経由で実行するためのツール
- C 海流予測用ツール

問題 16. vim-tiny は何をするものか

- A nvi のかわりにデフォルトにするためにつくられた
- B ただ vim を小さくしてみました
- C vim の機能はむだなものが多いので、普通いらないだろうというものだけにしてみた

問題 17. Lars Wirzenius の提案したのは何か

- A Debian の品質改善のための提案
- B Debian のパッケージ削減のための提案
- C Debian の利用方法の改善のための提案

## 2.5 2006 年 2 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/02/> にある 1 月 10 日版です。

問題 18. Technical Committee に参加した新メンバーは誰か

- A Steve Langasek, Anthony Towns, と Andreas Barth
- B Wichert Akkerman, Jason Gunthorpe, と Guy Maor
- C Branden Robinson, Kenshi Muto, と Goto Masanori

問題 19. カーネルに存在していた non-free firmware blob については現状どうなっているか

- A 進展がない
- B ライセンスを変更することで全て対処した
- C request firmware というフレームワークによりユーザ空間に移動した

問題 20. apt-get update で gpg エラーが発生した、これは何か

- A Debian のアーカイブに侵入されたため
- B Debian アーカイブ署名キーが毎年かわるため、2006 年用のものに変更する必要があった
- C gpg はもうサポートされていない

問題 21.

A

B

C

### 3 最近の Debian 関連のミーティング報告

上川純一



---

#### 3.1 東京エリア Debian 勉強会 11 回目報告



## 4 Debian Policy

岩松さん



## 5 冬の戦線報告

XXX さん

---



## 6 個人提案課題



名前 \_\_\_\_\_

下記の空欄を埋めてください:

Debian の ( )  
に注目し ( )  
を実現するために 2006 年の Debian 勉強会では下記のテーマを実施  
します

企画案 :

1. 2006 年の計画立案
2. ( )
3. ( )
4. ( )
5. ( )
6. ( )
7. ( )
8. ( )
9. ( )
10. ( )
11. ( )
12. 一年間の反省

## 7 グループ提案課題



名前 \_\_\_\_\_  
名前 \_\_\_\_\_  
名前 \_\_\_\_\_

名前 \_\_\_\_\_  
名前 \_\_\_\_\_  
名前 \_\_\_\_\_

Debian の ( )  
に注目し ( )  
を実現するために 2006 年の Debian 勉強会では下記のテーマを実施  
します

下記の空欄を埋めてください: 企画案:

1. 2006 年の計画立案
2. ( )
3. ( )
4. ( )
5. ( )
6. ( )
7. ( )
8. ( )
9. ( )
10. ( )
11. ( )
12. 一年間の反省

## 8 次回



---

未定です。内容は本日決定予定です。  
参加者募集はまた後程。



Debian 勉強会資料

2006 年 1 月 21 日 初版第 1 刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）

---